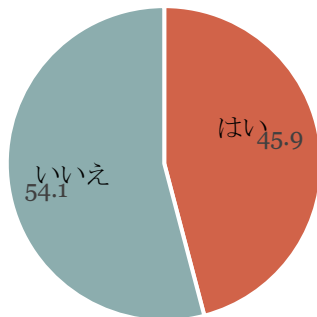


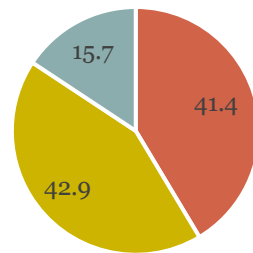
障害者専用友活・恋活・婚活アプリ

障害者には一般の人と同様、交際・結婚願望があるが、障害者の結婚率は一般の人と比べて低い。その理由として、障害が理由で積極的になれないなどの理由がある。障害者向けの結婚相談所があったり、東京や大阪の中心都市で障害者向けの婚活パーティーが開催されたりするが、身近で誰でも利用できるものはマッチングアプリである。障害がある人を対象にした調査によると、マッチングアプリを利用したことがある人は45.9%であり、使っているアプリも一般的に世間で使われているものが多い。そして、マッチングアプリでプロフィールに障害について書いている人は41.4%と書いていない人の方が多い。障害であることを公開する理由として、「後々困るから」などや「あった時に中傷されることが怖いから」などがある。また、障害であることを公開しない理由として「障害にとらわれず自分の人間性を見てほしい」などや「障害に対して偏見がある人もいるから慎重になる」などがある。

マッチングアプリを利用した
ことありますか？

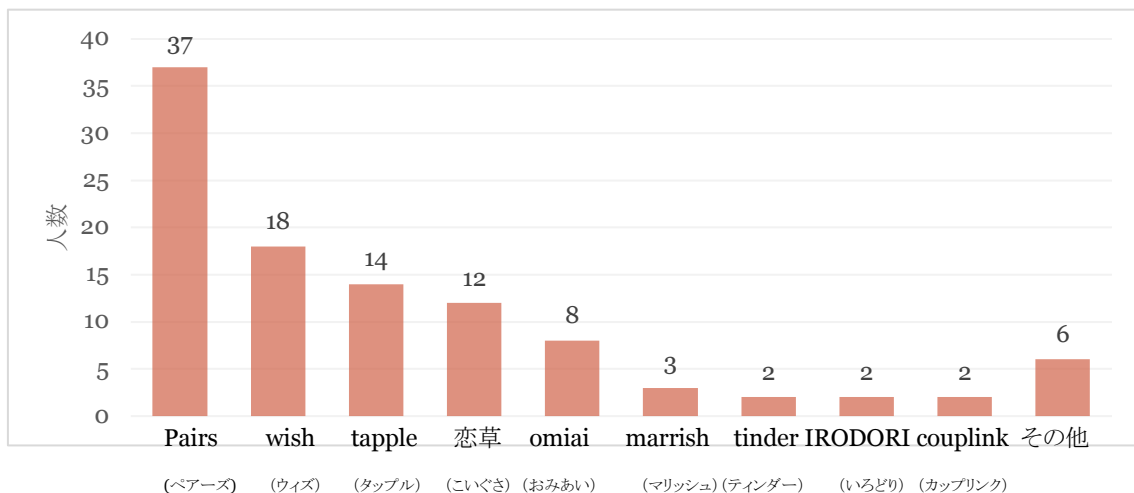


プロフィールに障害について
書いていますか？



■ はい ■ いいえ ■ アプリによる

利用したことがあるマッチングアプリ



2023年7月に障害者向けのアプリ「IRODORI」が正式にリリースされた。このアプリは、18歳以上の障害がある方、障害に理解がある方が無料で利用できる。チャットや音声通話などが利用でき、コミュニケーションが苦手な人や対面が苦手な人でも利用しやすいようになっている。そして、入会の際は、なりすまし防止のために障害者手帳を提示する必要があり、持っていない人でも身分証の提示が必要となり、障害があることを安心して公開できる環境が整えられている。また、男女関わらず仲良くなれる仕組みのアプリであり、結婚の為のみではなく、人との関わりの場が少ない結婚を望んでいない障害者にとっても友達を作れる機会となる。

アプリ[IRODORI]：<https://apps.apple.com/app/id6444213004>

調査結果引用：<https://research.co-co.ne.jp/2023/03/14/beginning-of-love/>

参考文献：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000086573.html>